

〔薬学雑誌, 98, 1019 (1978)〕

**Studies on Benzothiazoline Derivatives. II.\* Synthesis of Benzothiazoline Derivatives possessing Substituent Groups at 2-and 3-Positions**

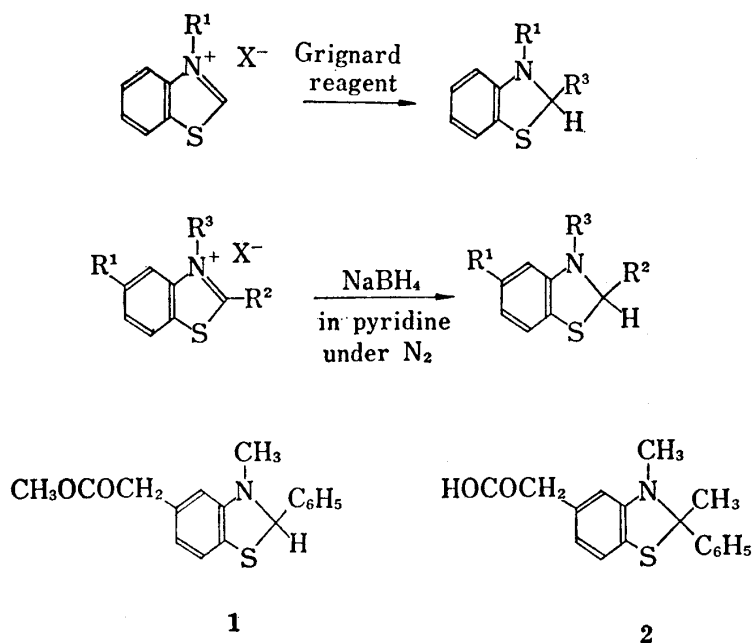
MIKIO HORI, TADASHI KATAOKA, HIROSHI SHIMIZU, YUTAKA IMAI,  
HAJIME FUJIMURA\*\*

**Benzothiazoline 誘導体に関する研究 (第2報\*) 2位および3位に置換基を有する Benzothiazoline 誘導体の合成**

堀 幹夫, 片岡 貞, 清水 洋, 今井 豊, 藤村 一\*\*

Benzothiazolium 塩をピリジン中  $\text{NaBH}_4$  で還元する方法ならびに, それを Grignard 試薬と反応させる方法によって, 多くの 2,3-ジ置換または 2,2,3-トリ置換 benzothiazoline 類を合成した。これらの方法により種々の官能基を有する benzothiazoline 類の一般的合成法が確立できた。

合成された benzothiazoline 誘導体のうち, 3-methyl-2-phenyl (1) および 2,3-dimethyl-2-phenyl-5-benzothiazolineacetic acid (2) に若干の鎮痛, 抗炎症作用が見られた。



\* 第1報: 薬学雑誌, 95, 634 (1975).

\*\* 岐阜大学医学部